

**単元名**

第1学年 NEW HORIZON

Unit 1 New School, New Friends

**内容のまとめ**

「話すこと [やり取り]」ア

**1 「話すこと [やり取り]」における第1学年の目標**

関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を、聞き手を意識して強調したり、繰り返したり、新しい情報を付け加えたりして対話を継続・発展させながら3往復程度の対話で話すことができる。

**2 単元の目標**

自分のことを知らない人に、自分のことを知ってもらったり、学級の仲間のことをよりよく知ったりするために、名前や好きなもの、普段することやできることなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。

**3 単元の評価規準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・be 動詞と一般動詞, 助動詞 can を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・名前や好きなもの, 普段することやできることなどについて, be 動詞と一般動詞, 助動詞 can などを用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。</li> </ul>	<p>お互いのことをよりよく知るために, 名前や好きなもの, 普段することやできることなどについて, 簡単な語句や文を用いて即興で伝え合っている。</p>	<p>お互いのことをよりよく知るために, 名前や好きなもの, 普段することやできることなどについて, 簡単な語句や文を用いて即興で伝え合おうとしている。</p>

**4 主な言語活動における必要な力と留意点**

【ディスカッション(ディベート)活動における必要な力】	【ディスカッション(ディベート)活動における留意点】
<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の立場(意見や根拠)を明確にすること</li> <li>②自分の意見を聞き手の理解に応じて話すこと</li> <li>③聞き取った内容を理解し, 相手の意見の内容に応じて同意や反対をしたり, さらに付け足しをしたりして対話がより継続・発展するようにすること</li> <li>④ ICTを用いて, 自分の立場を有利にする情報を収集し, まとめ, 活用すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①メモや書いた意見を参考にしながら話してよい。</li> <li>②意見を支える理由を実生活と結び付けて考える。</li> <li>③やり取りを円滑にする Idea Box やフレーズ集を使用してもよい。</li> <li>④自分の意見と違う立場の意見を予測した意見を用意しておく。意見を有利にする(より主張ができる)情報を事前に得ておく。</li> </ul>

5 展開案を含む単元指導計画

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
1	<p><b>Part 1</b></p> <p>■お互いの名前や好きなものを伝え合う活動を通して、好きなことが共通の仲間を見つけるために、小学校で学んだ表現を用いて、お互いの好きなものについて伝え合うことができる。</p> <p>①教師のモデルから本時の活動を理解する。</p> <p>②Enjoy Communicationにおいて名前や好きなことについてペアで対話を行う。</p> <p>③中間交流で仲間のよい姿や、言いたかったけれど言えなかった表現等を交流する。</p> <p>④中間交流での学びを生かして別のペアで対話を行う。</p> <p>⑤課題に対する振り返りを行う。</p>	<p>・ Stage Activity に向けて、質問に答えたり、自分のことを紹介したりするだけでなく、常に相手のことについても尋ねるように指導する。</p> <p>●①において、6年生「自分についてのスピーチをしよう」で学んだ「名前や好きなことを紹介する」ことを思い出させ、内容面と表現面について指導する。</p>	<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>		
2	<p><b>Part 1</b></p> <p>■メグの自己紹介の内容を理解する活動を通して、自分のことについての表現の仕方を理解し、名前や年齢、好きなことについて話したり、書いたりすることができる。</p> <p>①教科書の自己紹介文を読み、内容や自己紹介の仕方を理解し、音読をしたり、対話の続きを考えたりする。</p> <p>②教科書の表現や既習表現を利用して、ペアで自己紹介を行う。</p> <p>③話した内容を踏まえ、自己紹介文を書く。</p>	<p>・ 単元の終末の活動に向けて理解した内容に合った音読の仕方も指導する。</p> <p>・ 教科書の内容理解と共に、メグの自己紹介の文章のつながりに注目させ、使われている表現をどう自己表現に生かせるか考えさせる。</p>			
3	<p><b>Part 2</b></p> <p>■お互いの出身や好きなスポーツを伝え合う活動を通して、自分のことをよく知ってもらうために、be動詞や一般動詞を用いて詳しく伝え合うことができる。</p> <p>①教師のモデルから本時の活動を理解する。</p> <p>②Enjoy Communicationにおいて出身や好きなスポーツについてペアで対話を行う。</p> <p>③中間交流で仲間のよい姿や、言いたかったけれど言えなかった表現等を交流する。</p> <p>④中間交流での学びを生かして別のペアで対話を行う。</p> <p>⑤課題に対する振り返りを行う。</p>	<p>・ Stage Activity に向けて、質問に答えたり、自分のことを紹介したりするだけでなく、常に相手のことについても尋ねるように指導する。</p> <p>●①において、6年生「自分についてのスピーチをしよう」で学んだ「出身や好きなことを紹介する」ことを思い出させ、内容面と表現面について指導する。</p>			
4	<p><b>Part 2</b></p> <p>■メグと海斗の対話の内容を理解する活動を通して、相手のことについて尋ねる表現を理解し、自分の知りたいことについて尋ねることができる。</p> <p>①教科書の対話文を読み、内容や相手のことについての尋ね方を理解し、音読をしたり、対話の続きを考えたりする。</p> <p>②教科書の表現や既習表現を利用して、ペアでスポーツについて対話を行う。</p> <p>③話した内容を踏まえ、自己紹介文を書く。</p>	<p>・ 単元終末の活動に向けて理解した内容に合った音読の仕方も指導する。</p> <p>・ 教科書の内容理解と共に、Yes./No.の答えで終わらず、情報を付け加えている点に注目させ、使われている表現をどう自己表現に生かせるか考えさせる。</p>	○		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">5 【展開案】</p>	<p><b>Part 3</b></p> <p>■お互いのできることを伝え合う活動を通して、仲間の新たな一面を見つけるために、助動詞 can を用いてお互いの得意なことを伝え合うことができる。</p> <p>①教師のモデルから本時の活動を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's find new information about our classmates!</div> <p>②Enjoy Communication においてお互いのできることについてペアで対話を行う。</p> <p>③中間交流で仲間のよい姿や、言いたかったけれど言えなかった表現等を交流する。</p> <p>④中間交流での学びを生かして別のペアで対話を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>S1: Hello. I like music. Do you like music?  S2: Yes, I do. I can play the piano. <u>Can you play the piano?</u>  S1: Really? No, I can't play the piano. <u>But I can play the guitar.</u>  S2: Wow, nice.</p> </div> <p>⑤課題に対する振り返りを行う。</p>	<p>・ Stage Activity に向けて、質問に答えたり、自分のことを紹介したりするだけでなく、常に相手のことについても尋ねるように指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●①において、5年生「身近な人の紹介」で学んだ「できること・できないことを紹介する」ことを思い出させ、内容面と表現面について指導する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆②と④において自分たちの対話の様子を録画し、⑤において、その違いを見比べながら自己の成長や次への課題を自覚できるようにする。</p> </div>		○	○
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">6 【展開案】</p>	<p><b>Part 3</b></p> <p>■メグと朝美の対話の内容を理解する活動を通して、場面や状況を理解し、登場人物になりきって話したり、対話の続きを考えたりすることができる。</p> <p>①教科書の対話文を読み、場面や状況、本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>What are they talking about? And what's next?</p> </div> <p>②対話の内容を理解し、その内容や場面に合うように音読練習をしたり、対話の続きを考えたりする。</p> <p>③中間交流で自分が工夫した点や仲間のよい姿、予想される対話の続きを交流する。</p> <p>④中間交流での学びを生かしてペアで対話を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>S1: You're a good player.  S2: Thank you. <i>Arigato.</i>  S1: Oh, you speak Japanese.  S2: Yes, just a little. I study it every day, but I can't read kanji.  S1: <u>I can teach kanji.</u>  S2: <u>Really? That's nice.</u> Thank you.  S1: OK. <u>Let's study kanji.</u></p> </div> <p>⑤課題に対する振り返りを行う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◆②において自分の話す声を録音し、自分で聞きながら練習を行う。</p> </div> <p>・音読の工夫として、Good. や Great. Thank you. など、気持ちが表われやすい英文の読み方を工夫する。</p> <p>・対話の続きを考える活動においては、内容理解が中心のため、日本語で考えを広げ、その後英語の表現を考えさせる。</p>	○		
後日	ペーパーテスト・パフォーマンステスト		○	○	○